

就労移行支援事業

座学の様子

就職に向けての学習会の様子をお伝えします。この学習会ではマナー学習（ビジネスマナー、あいさつ、返事、報告など）やコミュニケーション学習、履歴書の書き方、面接練習、実際にハローワークで求人検索など様々な内容に取り組んでいます。



この日は職場における人間関係とヒューマンエラー（失敗）について学びました。職場における人間関係では、①おふざけからいじめにつながる、②ジョーク（冗談）と悪口のちがひ、③悪口を聞いた時、どうしたらよいか、④職場でよい人間関係をつくるにはという内容で意見交換しました。ヒューマンエラーでは実際にあった失敗談から意見交換し、今後の取り組みについて話し合いました。受講された方の感想です↓↓↓

- 悪口を聞いても同意しないこととネガティブに考えないことを意識したいです。
- 悪口を聞いたときは話題を変えたり、楽しい話をして盛り上げたいと思いました。
- 悪口を言うのはダメなことなので、言わないように気を付けたいです。
- 時間やルールを守って、いろんなことを覚えたいです。
- 訓練中にできる限り失敗をして、失敗したときはすぐに報告するようにしたいです。
- 失敗などを隠さずに上の人に報告して、反省をし、同じ失敗をしないよう仕事に取り組みたいです。

地域交流ふれあい縁日

今年もふれあい児童館の縁日に参加させていただきました。

青空作業所・・・
夏のバザーといえば！？
かき氷&ゲーム☆

かき氷シロップはたくさんの味がありますよ～！
ゲームもはずれなしですよ～！
この日は雨が心配されましたが無事最後まで開催され、大盛況でした！！
来年もたくさんのバザーに参加させていただきたいと思っています。お楽しみに～♪

高校生ボランティアの2名が手伝ってくださいました

ブルーハワイ
1つ下さい

就労継続支援B型事業

【7月：七夕の会】

かき氷を食べて、短冊に願い事を書きました！



【8月：買い物の会】

ルビットタウンやフレスポへ買い物に行きました！
お目当てのものを買うことができ、ご満悦！



大好評！

【10月：魚つり大会】

赤保木公園で行われた魚釣り大会に参加しました。



福祉のお店 in 高山市役所

座学の様子

◆◆◆自主製品販売バザー◆◆◆

7・8・9月は、福祉のお店（下呂総合庁舎・高山市役所・日赤病院）、JA 大地の恵みサマーフェスタ、ののさまマルシェ、山ゆり学園夏祭り、児童館バザー、山王フェスタ、江名子まち協ウォークラリーにて出店させていただきました。見に来て頂いた方々、購入して下さった方々、ありがとうございました！

11月バザー出店予定

22日（水）福祉のお店【高山市役所】

～ぜひお越しください！～

カレンダーをお譲りください

よろしく
おねがいします



青空作業所ではつかわないカレンダーなどを利用してリサイクル封筒を作成しています。ご家庭、会社様においては、年末にかけカレンダーを頂く機会が増えると思います。

ご不要なカレンダー（裏面が無地のもの）があれば是非ともお譲り下さい。ご連絡いただければ取りに伺わせていただきますので、ご協力お願いいたします。

<トピックス>

安全運転管理者講習を受講して

井端 隆博



法律の改正にあわせ昨年からは安全運転管理責任者の選任を行い、アルコールチェッカーを用いた酒気帯び確認、チェック結果の記録・保持、安全運転管理規定の策定を行ってまいりました。そして今年9月15日に安全運転管理者講習を受講しました。様々な状況での事故防止の取り組み、安全運転に対する知識向上への取り組み、岐阜県安全運転マップを用いた事故多発エリアの周知などたくさんのお話を学ばせていただきました。

今後、職員への周知徹底、交通安全に対する啓発を行うべく職員研修を行い、利用いただく皆様に安心安全を提供していきたいと思っております。

授産製品からの脱却

柏木 真司



島根県の西部、浜田市にある障がい者施設を訪問した時の話です。この地域は石見（いわみ）神楽が有名であり、テレビ等でご覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。訪問した施設では、この神楽の衣装の刺繍を作業として取り入れていました。かなり本格的なものであり、さぞかし手間暇かかるだろうと施設職員に尋ねたところ、その答えは「時間をかけるほど付加価値が高まるのでゆっくりやっています。」とのことでした。仕事はできるだけ早く行うことが大切だという固定概念を持っていた私には新たな気づきとなりました。

この施設ではそのほか洗剤やお菓子も製造していましたが、パッケージを見ると大手企業が製造しているものと同レベル。お店に並べば福祉施設の商品だとは気づきません。当時（今から30年ほど前）は、授産製品といえば、ビニール製の袋をリボンで縛り、お手製のシールを貼って販売。作り手は福祉施設の商品だからこれでよい。購入する側も福祉施設の商品だから買うといった相互の考え方により売買が成り立っていました。この施設は、当時としては先進的な取り組みをしていたように思います。

（第8回終わり）

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所

高山市山口町 1297-1 0577-35-1559

<https://www.welcom-aozora.com/>

令和5年 10月 13日発行 第58号

理事長挨拶

柏木 真司

例年のない猛暑の後の長く続いた残暑。最近ようやく涼しくなり過ごしやすい季節となりました。日頃よりウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、「老障介護」という言葉を聞かれたことがありますか。障がいのある子どもを高齢の親が自宅で介護するといった状況が社会問題となり、マスコミ等において取り上げられています。

高齢の親は今の生活を続けて、障がいのある子どもと暮らしていく事を望みますが、身体的にいつかはそれが叶わなくなるといった不安を抱きながら暮らしています。今、高齢者と障がい者がともに利用できる共生型サービスが注目を集めていますが、なかなか全国的に拡大されていません。その理由は、予算の問題やサービス内容の相違等の運営上の難しさがあると聞いています。

青空作業所にも同様の状況下にあるご家族がいらっしゃいます。親御さんが入院することとなった際、周囲からは息子さんを入所施設に入れて欲しいとの話が上がりました。ご本人はそれを拒絶されました。そこで関係する機関と連携を図り、ご本人をこれまで同様に自宅において一人暮らせるようサポート体制を作り支援しました。

老障介護の問題は、親子を別々に支援するとか、施設に入所するといった考え方ではなく、高齢者サービスと障がい者サービスが一体となって、現在の親子の生活環境をできるだけ変えずにサポートする体制を構築していく事が大切だと思います。

